

# 文化芸術による地域づくりを 進めています!

県では、東京藝術大学や地元大学などと連携し、「長崎島の芸術祭」や若者対象のワークショップなどを県内各地で開催することで、交流人口の拡大や若者の県内定着促進に取り組んでいます。



県がおすすめ  
取組を紹介します

## 長崎島の芸術祭

県内のしまで、さまざまな文化芸術のイベントを開催し、交流人口の拡大を図ります。

### 東京藝術大学と連携した音楽イベント

第一線で活躍する講師陣によるセミナーや世界遺産登録を記念したコンサートを開催し、「音楽の島」のブランドづくりを図ります。

#### 教会コンサート

◆日時/11月9日(金)18:30～ ◆会場/奈留教会(予定)

#### 五島ウインドオーケストラ演奏会

吹奏楽・合唱のセミナー受講生による  
成果発表の演奏会

◆日時/11月11日(日)13:30～  
◆会場/福江文化会館



### 上五島での音楽イベント

#### 上五島ホルン・ミュージック・キャンプ

島外からの参加者を対象にしたミュージックキャンプ

◆期間/9月22日(土)～24日(月・振休)  
◆場所/県立上五島海洋青少年の家

#### チャーチウィーク

#### in 上五島教会コンサート

◆期間/12月11日(火)～16日(日)  
※15日、16日は東京藝大講師陣が出演  
◆場所/町内の各教会



### アーティスト・イン・アイランド

海外のアーティストがしまに滞在し、地元の素材を使った作品を創作し、住民や地元アーティストと文化交流やワークショップを行います。

#### 五島市(奈留)

◆期間/9月29日(土)～10月12日(金)  
◆会場/笠松宏有記念館など

#### 壱岐市

◆期間/9月27日(木)～10月11日(木)  
11月10日(土)～30日(金)  
◆会場/一支国博物館など

### 対馬ギターフェスティバル

住民向け講座や県外の愛好家対象の合宿などを行います。

◆講座/5月13日(日)～  
平成31年3月3日(日)全8回  
※3月3日(日)は成果発表演奏会

◆合宿/10月6日(土)～  
8日(月・祝)

◆会場/対馬市交流  
センター など



## 若者アート「LOVE♥ながさき」創造プロジェクト

若者が主役となって取り組む文化芸術活動を支援し、若者の県内定着につなげます。

### ダンスイベント・短編映画祭

#### SASEBO DANCE PORT2018

◆期間/8月11日(土・祝)～12月9日(日)  
◆会場/アルカスSASEBOなど

#### 第2回渋谷TANPEN映画祭CLIMAX at 佐世保2018-19

◆期間/平成31年2月2日(土)～3日(日)  
◆会場/アルカスSASEBOなど

### 満月BAR ～月明かりで満ちるプロムナード～

地元の食材を使った料理や県産酒などを提供するバーを開きます。ジャズなどの生演奏やアート作品の展示なども楽しめます。

◆日時/10月26日(金)  
18:00～

◆場所/長崎水辺の森公園、  
長崎県美術館



ながせ陶房 長瀬渉さん(波佐見町)

### Q.1 波佐見町へ移住したきっかけを教えてください。

妻が佐賀県にある陶磁器の学校へ入学したのを機に波佐見町へ移住しました。

当初は、波佐見焼振興会のお手伝いをしながら、工房を借りて作家活動を始めました。催し物をする際には地元の方に協力していただくなどの付き合いを重ねて、地域との繋がりもでき、大きな財産となりました。

### Q.2 人気スポット「西の原」誕生のきっかけを教えてください。

工房を探していた頃、出身大学の先輩である富本憲吉とみもとけんきちががかって作陶した場所が更地になると聞き、後輩である自分がこの地を復活させることに“ものがたり”を感じました。工房を構えたら「隣にカフェやギャラリーがあるといいな」と、自分にとって居心地の良い場所にしていったのがスタートです。

町内のやきもののイベントに参加した美大生や、色々な縁で波佐見を訪れた人と共に、“波佐見らしさ”をテーマに、西の原が作られていきました。

※陶芸家(1886～1963年)。東京美術学校(現東京藝術大学)卒業後、ロンドン留学を経て信楽・益子・波佐見・瀬戸・九谷で作陶を行った。1955年人間国宝に認定

## つたエール

### “YELL” けん

県内で頑張っている人に

エール(応援)を送ります

2003年、山形から東京を経て波佐見町へ移住した陶芸家の長瀬渉さん。取り壊される予定だった製陶所に、長瀬さんが工房を構えたことが人気スポット「西の原(P3参照)」誕生のきっかけでした。

2012年には、敷地内の一部の建物が国の有形文化財に登録。今や西の原や波佐見の人気は、全国区となっています。

この人気の立役者の一人である長瀬さんに、これまでの活動や今後の展望についてお聞きしました。

### Q.3 今後どんなことに取り組みたいですか?

働き始めるきっかけを探している子育て中のお母さんたちにも活躍してもらえるような環境を整備できたらと考えています。

自分たちが純粋に楽しめていたら、人が集まり、交流の輪が広がるはず。誰もやっていない新しいことに取り組むことが、町のためにもなると思うので、背伸びをしすぎず、波佐見らしいまちづくりをしていきたいと考えています。



釣り好きな長瀬さんが作る長崎の海の生き物を表現したオブジェ。その他、日常食器や花器など、長瀬さんが表現する作品は、注目を浴びています。

地元の特徴を生かした  
地域の活性化を応援するけん!

